

# 寒林小唱

三好達治

青空文庫



山雀の嘴はしをたたきし板はしびさし

はたやくだりし黄なる枯芝

裸木の朴ほほのこずゑはゆれてあれ

その青空をとぶ雲もなし

鴉なく櫟はばやしのあらきみち

けうとかりけり陽はてれれども

さねさし相模の山よ來る小鳥

たかき空よりまひくんだりけり

はらはらと空よりくだる小鳥あり

やがてかしこにしばなきにけり

この庭は鷓<sup>ひたき</sup>のとりの一羽きて

あそぶ庭なりひるをひねもす

宵ながら怠りてふすかり臥しの

山のしじまのきはまりもなし

むらぎものこころいこはずいくとし月  
すぎこしはてのこの疲れかも

おほよそは古きうれひも忘らへし

旅寝ごころや山の端に臥す

晝の間は鶉のとりのきてなきし

林のおくにわがひとり臥す

峽をゆく柝たくの音あはれ艸まくら

林の奥に臥すもあはれや

一山をゆるがしすぐる風のこゑ  
しましはやがてひそまりにけり

風の日は鶉のとりも來てなかぬ  
林の宿のおちるなやあな

遠とほに大砲おほづつの音すなりけり  
鶉どりのむれものの實をはむ

夕陽落つ冬木のなかの朴の木に

鴟もずのしまらくゐてもだしたり

冬木立ひとまはりして周章と  
啼きてさりける棕のとりはや

枯芝のかのふる椅子に今宵また  
下りたちにはける黒くろつぐみ鶺鴒どり

夕庭に婆娑とくだりし鳥かげの  
やがてひそけし埒とむらん

母ひとりはるばるとふるさとより僑居を

訪なひたまふ乃ち一日鎌倉に遊ぶ

母として長谷観音のおみ足に

らふそく獻ず冬の日の暮れ

るしやな佛露座にておはすおん前に

腰くぐもれる母のあゆます

また一日さる出湯にて

ざんぎりの髪を洗はせたまふなり  
ははそののははの老いたまひけり



# 青空文庫情報

底本：「三好達治全集第一巻」筑摩書房

1964（昭和39）年10月15日発行

底本の親本：「定本三好達治全詩集」筑摩書房

1962（昭和37）年3月30日

※誤植を疑った箇所を、「三好達治全集第一巻」筑摩書房、1976（昭和51）年10月10日第2刷の表記にそって、あらためました。

入力：kompass

校正：杉浦鳥見

2019年11月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 寒林小唱

三好達治

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>